



平成30年4月5日

各 位

上場会社名 株式会社ジinz
(コード番号:3046 東証第一部)
代 表 者 代表取締役社長 田 中 仁
問 合 せ 先 管 理 本 部 山 脇 幹 也
事業統括リーダー
電 話 番 号 TEL (03) 5275-7001 (代表)
U R L <https://corp.jins.com/jp>

平成30年8月期 第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年8月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想の修正を行うことといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

平成30年8月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,210	2,600	2,400	1,500	62.56
今回修正予想(B)	25,294	2,177	1,921	1,034	43.13
増減額(B-A)	△915	△422	△478	△465	—
増減率(%)	△3.5%	△16.3%	△20.0%	△31.1%	—
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期第2四半期)	23,820	2,019	1,892	894	37.30

平成30年8月期 通期連結業績予想数値の修正(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,360	6,600	6,200	3,800	158.49
今回修正予想(B)	54,444	6,177	5,721	3,334	139.03
増減額(B-A)	△915	△422	△478	△465	—
増減率(%)	△1.7%	△6.4%	△7.7%	△12.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)	50,451	5,402	5,227	2,767	115.44

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間の連結売上高につきまして、前回予想を915百万円下回る25,294百万円となる見込みであります。

国内アイウェア事業につきましては、平成29年9月より発売した秋冬物の新作「JINS×TIME」シリーズの販売不振等に伴い一式単価が想定を下回りました。販売本数については、顕著な伸びを示したものの、一式単価の下落をカバーするに至らず、既存店売上高対前年比は当初見込の3.0%に対し△0.2%になりました。これにより、国内アイウェア事業の売上高につきましては予想を下回る見込みであります。

一方、海外アイウェア事業につきましては、中国では現地のコピーブランドとの差別化の効果が出始め、既存店売上高が大きく伸長したこと、米国では米国向けデザイン商品の投入及び店舗オペレーションの改善により既存店売上高が大幅に増加したことから、共に予想を上回る見込みです。

また、雑貨事業につきましては、通販サイト及び中古市場の台頭等により厳しさが増しており、当社グループの業績も少なからずその影響を受け、予想を下回る見込みであります。

営業利益につきましては、各種費用の抑制に努めたものの、前記の連結売上高が予想を下回ったことにより、前回予想を422百万円下回る2,177百万円となる見込みであります。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益が前回予想に届かない見込みであることから、前記の通り修正しております。

通期業績予想につきましては、前回予想の下期計画を据え置き前記の通り修正しております。

下期の国内アイウェア事業につきましては、平成29年3月に導入した新価格戦略の運用が一巡することに加え、春夏物新作の投入、中価格帯商品の充実、セール戦略の見直し等の施策を通じ、再び既存店売上高を成長軌道に乗せることに注力してまいります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により予測と大きく異なる可能性があります。

以 上